



**元気100倍!**  
**YUMEいっぱい!**  
(増小3年生表現)

■ 9月定例議会で決まったこと	2
■ 委員会レポート	5
■ 補正予算	9
■ 一般質問(7議員が登壇)	11
■ 特別委員会	18
■ 寄稿 郷土の先人たち	20

# 8338万円

## 使われたか？



八雲池公園

### 平成21年度特別会計決算

(単位：千円)

会計名	旧増穂町	旧鯉沢町	富士川町
国民健康保険特別会計	10億2,410万9	3億2,376万9	3億1,792万8
後期高齢者医療特別会計	1億9,884万7	9,130万9	6,322万1
介護保険特別会計	8億5,665万2	3億7,896万8	2億5,235万9
簡易水道事業特別会計	1,742万2	8,352万0	5,081万2
下水道事業特別会計	5億4,539万6	8,222万0	4億7,026万1
その他特別会計	1億1,802万3	1億8,165万6	6,912万2
合計	27億6,044万9	11億4,144万2	12億2,370万3

その他特別会計は、国民健康保険診療所、老人保健、介護サービス事業、奨学金、営農飲雑用水事業、箱原農業集落排水事業、活性化事業、峡南地区ことばの教室共同設置、峡南地区充指導主事共同設置、各財産区特別会計です。

会計名		旧増穂町	旧鯉沢町	富士川町
水道事業 会計	収益的支出	1億3,137万2	—	1,477万1
	資本的支出	5,014万0	—	1,671万2
計		1億8,151万2	—	3,148万3

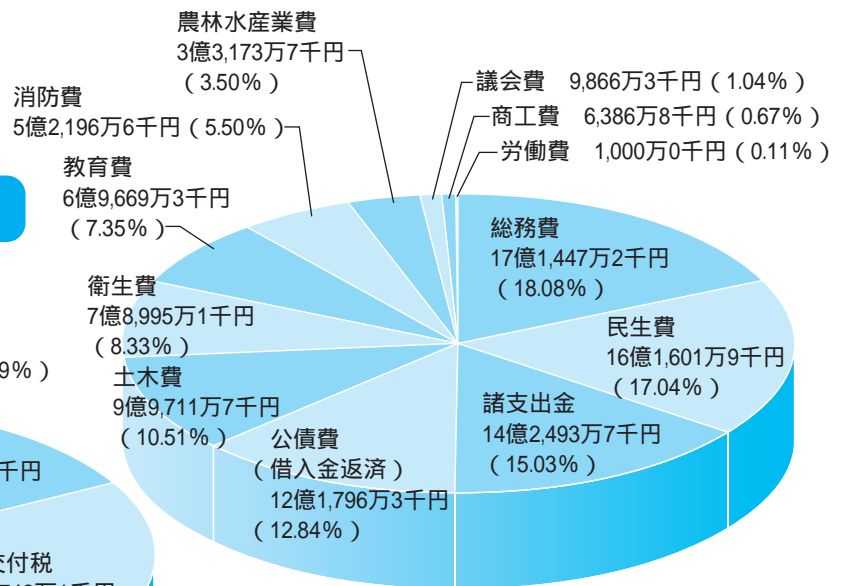
平成21年度の決算審議を主な議題とした9月議会が、10日から24日までの会期で開催されました。この議会には、町長から提出の平成21年度一般会計および特別会計決算認定5件をはじめ、補正予算11件、条例の改正2件、承認2件の合計20件が提出されました。このほか報告が1件ありまし

た。平成21年度決算は、旧増穂町、旧鯉沢町、富士川町の決算があり、総括質疑と各常任委員会の審議の過程では、活発な意見交換と質疑が行われ、審議の結果、一般会計と特別会計の歳出総額、旧増穂町72億5、704万円、旧鯉沢町38億2、954万円、富士川町35億2、249万円を全会一致で議決しました。

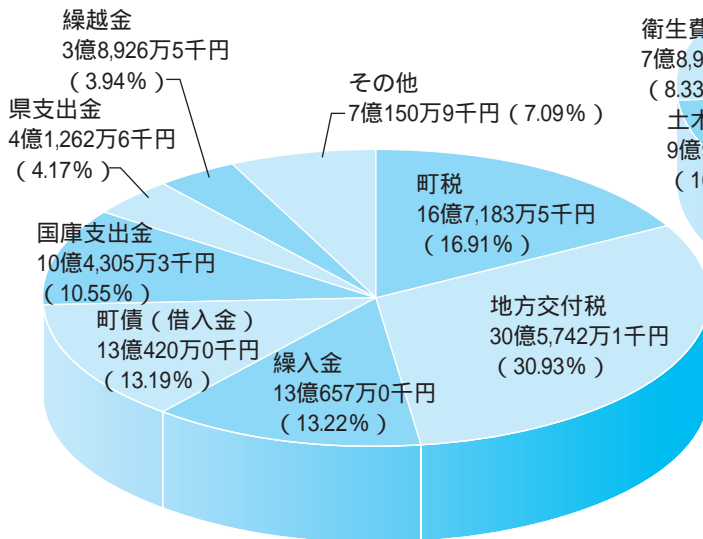
# 平成21年度決算 一般会計

# 94億 有効に

## 歳出（使いみち）



## 歳入（財源）



## 平成21年度一般会計歳出決算（目的別）

（単位：千円）

項目	旧増穂町	旧鯉沢町	富士川町	合計
議会費	5,806万6	3,717万4	342万3	9,866万3
総務費	8億3,446万7	5億372万9	3億7,627万6	17億1,447万2
民生費	7億6,925万6	4億5,391万3	3億9,285万0	16億1,601万9
衛生費	4億9,989万9	2億1,446万7	7,558万5	7億8,995万1
労働費	1,000万0	0	0	1,000万0
農林水産業費	1億4,396万7	1億672万6	8,104万4	3億3,173万7
商工費	3,449万7	1,077万2	1,859万9	6,386万8
土木費	3億9,076万8	4億1,382万5	1億9,252万4	9億9,711万7
消防費	2億2,304万4	2億6,591万8	3,300万4	5億2,196万6
教育費	3億5,450万8	2億5,539万2	8,679万3	6億9,669万3
公債費	4億305万0	3億5,753万1	4億5,738万2	12億1,796万3
諸支出金	7億7,506万8	6,856万3	5億8,130万6	14億2,493万7
合計	44億9,659万0	26億8,801万0	22億9,878万6	94億8,338万6

## 決算（質疑）

問 平成21年度末の地方債残高78億8、502万円の  
中で、過疎債はどのくらい  
あるか。

財政課長 13億8、975

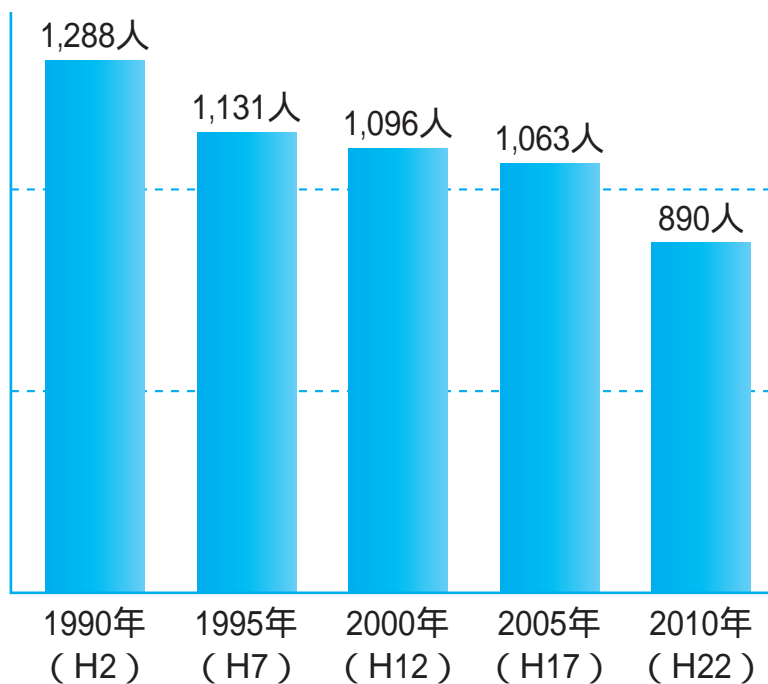
万円となっている。

問 保育料の滞納額が、約

500万円近くある。過年度と合わせ、件数として44件あるが、町はどのような対応をしているのか。

子育て支援課長 督促を何  
度もして、完済をお願いし  
ている。子ども手当の支給  
の折に協力していただくなど  
滞納対策を行っていく。

## 旧町(増穂町・鯉沢町)合算児童数(小学1年～6年)の推移



## 平成21年度

# 監査委員の 決算 審査意見

## 健全財政の維持・確立に向け 積極的な取り組みを期待

代表監査委員 川住道夫

監査委員 永井寛子

平成22年7月21日から28日までの8日間にわたり、平成21年度富士川町・旧増穂町・旧鯉沢町一般会計・特別会計・公営企業会計決算について審査しました。

（富士川町は3月8日合併のため、3月8日～31日までの期間となっています）。

### 審査の結果および意見(要旨)

#### 「富士川町」

新しい町として船出したばかりの短期間での決算となったが、財政状態や個々の事業内容の評価の点で、比較対照する前年度数値がない特殊なケースでの決算であったため、十分な分析ができなかった。財政力指数など一部主要指標の悪化があるが、合併時の臨時費用の増加など特殊要因も考慮され、なにより町税の落ち込みが大きく、医療・福祉関係事業費用は膨らんでいる。

国庫支出金や町債への依存度が高まり、財政の硬直化が懸念されるが、歳出全般にわたり見直しが必要で、予算の適正配分等、綿密な検討を求めます。

財源確保・公平性の観点から、滞納整理に引き続き強力な取り組みを求めます。

職員の意識改革、人事評価システムの導入など、人材育成の取り組みを期待する。

「生涯、快適に暮らせるまちづくり」の前提となる健全財政の維持・確立に向け、積極的な取り組みを期待する。

#### 「旧増穂町・旧鯉沢町」

平成21年度増穂町一般会計・特別会計・公営企業会計、鯉沢町一般会計・特別会計について審査した結果、各決算とも関係法令に準拠して作成されており、内容も適正なものと認めた。

# 委員会レポート

総務

教育厚生

産業建設

総務常任委員会

町税  
前年比  
6.4%減

1億1500万円の減収

【旧増穂町】

問 増穂町消防費の内訳は

答 8割は広域行政組合の負担金となっている。

問 コミュニティー助成250万円の事業内容は

答 平林区に代々伝わる神楽の衣装等、地域活性化に活用。

【旧鵜沢町】

問 鵜沢町ではコミュニティー事業で刈払機を購入し貸し出しをしていたが、活用方法は

答 刈払機は、本庁舎および分庁舎に設置しており、今後は貸し出しをPRしていく。

問 町文化保護として、横向七面堂に4,055万円を支出しているが、もつと町民にPRする必要があるのでは

答 年2回実施している町政バスのコースに組み入れる



修繕された横向七面堂

また、広報で地区紹介をしているので、PRしていく。

問 諸収入の中に991万円あるがその内容は

答 鵜沢保育所改修工事の請負業者が倒産し、その違約金が主なものである。

問 消防費2億6,591万円の内訳は

答 広域行政組合の負担金は8,054万4千円で、防災行政無線デジタル化工

事費1億4,122万5千円(2年目)が主な支出。

【富士川町】

問 町単独工事補助地元負担金は、旧鵜沢町では地元負担金はなく、旧増穂町では地元負担金があった。今後どのようになるのか。

答 旧増穂町では2.5%の負担金を徴収、土木工事の負担金は22年度以降も継続される。農地等の県営土地改良事業の受益者分担金は、一部で分担金を徴収しないことになった。

問 町税の収納状況はどうか。

答 21年度2町合算で16億7,183万円、20年度は17億8,696万円で1億1,513

万円、6.4%の減となっている。

問 町税が落ち込んだ内訳は

答 個人町民税は給与所得の減など、前年度比較で4,697万円、6.1%の減、法人町民税は製造業を中心に4,301万円、35%の大幅減となっている。

問 徴収方法はどのようになっているのか。

答 町税全体の徴収率は91.9%、前年度比0.9%増、県下市町村中、2町を合算した20年度の徴収率は91%で11位、21年度は8位の徴収率。滞納税徴収は、県滞納整理機構を活用し、収納担当2人を中心に、徴収員3人による訪問徴収、職員・管理職による夜間訪問徴収を実施。財産状況を把握し、貯金・不動産等換価可能な資産は差し押さえ、納税者に不公平感を持たれないよう努めている。

問 防災行政無線1,911万円の内容は

答 旧両町の防災無線工事費で、合併時より防災無線は統合された。

## 利根川公園テニスコート 公式戦の開催可能

【旧増穂町】

問 図書館ネットワーク用パソコン購入費は。

答 県立図書館とつなぎ図書を検索できるシステムのパソコンを購入。

問 利根川公園テニスコート整備設計業務費は、公式

戦ができ、観客席はある設計か。

答 公式戦はできる。駐車場も確保するが、観客席は厳しい。

問 西小学校教育振興費の委託料の内容は。

答 区域外から本校へ通う



改修予定の利根川公園テニスコート

児童をシルバー人材センターに運転を委託して送り、その車が帰る時に平林からの保育園児を乗せている。

問 南小学校管理費の工事請負費の内容は。

答 プールの塗装や飛び込み台の改修。

問 増小教育振興費報償費の子どもと親の相談員謝礼とは。

答 相談員が休み時間に、児童や親の相談にのった事業費。

問 増穂中学校管理費の工事請負費、図書室冷暖房設備工事の内容は。

答 機械本体の他に変電設備も改修。あと2、3教室は冷暖房設備の設置が可能

問 民生費の児童福祉総務費委託料は0歳児保育業務とあるが、現在何人で待機児童は。

答 3人の0歳児保育をしている。1人待機児童がいる。

問 私立保育所が町内にあることのメリットは。

答 保護者は選択肢が広がる。公立と私立が切磋琢磨し、よりよい保育が目指せる。

問 保育所総務費報償費の

内容は。

答 埼玉県からマーチング講師1人4回分など。

問 第3保育所耐震改修工事をしたが大具合はないか。

答 2階に大人のトイレが無く、不便である。

(意見)

早急に2階に先生の使えるトイレを設置するよう要望。

問 第1保育所費の需用費、保育材料費は足りているのか。

答 打ち切り決算で途中経過富士川町には消耗品費の中に保育材料費が含まれる。

(意見)

保育材料費が消耗品費として項目変更されるのはおかしい。保育材料費として区別し、用途を明確にする必要がある。

問 衛生費の母子保健費、不妊治療に2件補助しているが、何年継続して受けられるか。

答 5年間継続。

問 衛生費の生活環境費、生ごみ処理機購入補助内容は。

答 電気乾燥するタイプ10件分。

問 ごみ袋を70万枚作っているが、サイズの小さいものは。

答 一つのサイズしか作らなかった。今後検討する。

のは。

答 一つのサイズしか作らなかった。今後検討する。

問 衛生費の生活環境費、委託料ミックス紙再生費の内容は。

答 リサイクルステーションのミックス紙処理は1kgあたり7円かかる。一般の可燃ゴミは1kgあたり9円

中巨摩広域に直接持ち込む場合は1kgあたり16円の処理費がかかる。

問 民生費の老人福祉費委託料、生活援助員派遣料の内容は。

答 65歳以上の1人暮らしの自立した生活を援助し、家事援助ヘルパーを派遣する。

問 民生費の老人福祉費委託料の生きがいデイサービス内容は。

答 65歳以上の介護認定されていない高齢者が、デイサービスで趣味や日常訓練を行う事業。延べ1、787人が利用。

【旧鯉沢町】

問 社会教育総務費の使用料・賃借料の内容は。

答 1泊2日で日本海へ行ったワクワク探検隊28人と、

## 産業建設常任委員会

### ふるさと自然塾3千人が利用

170万2、500円は。

**答** 神明の花火の町PR代80万円と、観光パンフレット作成費。

**問** 公園整備費工事請負費は。

**答** 利根川グラウンド整備や遊具設置工事、青柳町3号公園整備工事と用地買収最勝寺2号公園、大柵1号公園の標識板設置工事等を行った。

**問** 東部開発事業費のまちづくり交付金事業事後評価業務とは。

**答** 目標が達成できたか、5年間の評価をする。

【旧鯉沢町】

**問** 農業総務費の公共財産購入費は。

**答** 塩の華の一部敷地を土地開発基金から購入した。

**問** 商工振興費の商業協同組合補助金30万円とは。

**答** 鯉沢町共通商品券発行に当たり、組合に事務費の補助。

【旧増穂町】

**問** 耕作放棄地再生利用推進事業とは。

**答** 市民農園の整備を進めた。

**問** 遊休農地有効活用事業補助金とは。

**答** 遊休農地を整備し農産物の栽培を行う個人に補助する。

**問** ふるさと自然塾の利用状況は。

**答** 延べ3、053人の利用。使用料収入は168万9、400円。

**問** 地域住宅モデル普及推進事業管理監督業務42万5、250円は。

**答** 会社が倒産し事業が破綻したため、それまでの管理料。

(意見)

町では一切負担はないとの話だったが、最後は町で一部負担することになった。今後、二度と起こらないよう強く望む。

**問** 町観光協会運営補助金

イレはどのようなものか。

**答** 下水マンホールの蓋をはずして設置、周りを囲って使う簡易トイレ4基分。

**問** 衛生費保健事業費の間ドックは何人受診したのか。

**答** 山梨県厚生連で61件の受診があった。

**問** 衛生費保健衛生総務費病院群輪番制病院運営業務ほかとは。

**答** 休日・夜間における救急患者の診療を受け入れる体制を整備する事業。峡南各町で負担し保健所がとりまとめるもので、旧増穂町分の665万5、385円。

旧鯉沢町分の県救急医療情報センター負担金が48万9千円である。

**問** 子宮ガンの検診人数は何人か。

**答** 増穂地区で808人、鯉沢地区で271人、合計で年間1、079人が受診。

**問** 介護保険料366万7、800円が不能欠損額になっている。徴収方法の具体的な対策を考えているか。

**答** 督促の仕方をインパクトのあるハガキで出せるように金融機関と調整している。

化会館清掃費6万1、425円など。

**問** 教育費の学校費小中学校理科教育設備整備費で何を購入したのか。

**答** 新学習指導要領に対応した教材、百葉箱、地球儀、生物顕微鏡、天体望遠鏡など。

**問** 鯉沢中学校管理費の修繕料は何に使ったか。

**答** 防球ネットの設置。

**問** 中部小学校管理費の賃金46万7千円は。

**答** 町単教員の賃金。

**問** 増穂小体育館管理費の備品購入費災害用の簡易ト



小学6年生27人が1日都内へ研修に行ったバス借上代

**問** 中部小学校の備品購入費でエアコンを設置したが職員室だけか。

**答** 職員室と校長室に付けた。

**問** 民生費社会福祉施設費建物敷地使用料の内容は

**答** 国から1、118・75㎡を福祉センター敷地として借りている。今後、買い取りができるか検討していきたい。

**問** かじかの湯委託料内容は。

**答** 指定管理委託料として1千万円支出。また、源泉ポンプの保守点検委託料として18万9千円を支出。

【富士川町】

**問** 教育費の社会体育施設費で五開小学校グラウンド

照明工事の内容は。

**答** グラウンドゴルフができるよう設置、今年の2月に完成。

**問** 教育費の教育総務費委託料の内訳は。

**答** 五開小学校閉校記念碑198万4、500円、記念誌500部107万1千円

教育文化会館改修設計委託49万9、800円、教育文



五開小閉校記念碑



答 つくたべかん手前の駐車場の一部借地料。

問 天戸地区の電気柵モデル事業のその後の対応は。

答 設置業者を招き説明したが、維持管理と個人負担がかかるため利用していない。(意見)

町の税金も投入されている以上、慎重な対応を望む。

問 道路橋梁総務費の公有財産購入費2、473万9、074円とは。



完成した大法師公園内車道

答 町内の道路敷地17筆を土地開発基金から購入、国見平長知沢線の用地費。

問 街路事業費の公有財産購入費は。

答 ポケットパーク用地を土地開発基金から購入した。

問 都市公園費の委託料は。

答 大法師公園の管理等の業務をシルバー人材センターにお願いしている。

問 交流施設管理費の報償費は。

答 パート従業員に年2回2万円ずつ報償。

問 簡易水道遠隔監視装置の効果は。

答 これまでは住民からの通報を受けてからの対応であったが、今後は迅速に水の確保ができる。

【富士川町】  
問 環境公益林整備事業補助金とは。

答 個人所有の山林を間伐する事業で、森林組合が個人と契約し行っている。

問 森林整備地域活動支援事業交付金とは。

答 個人所有の山林の境を明確化する事業。

問 商工振興費の需用費は。

答 合併時の、のぼり旗400セット。

問 新しい町づくり事業費の公有財産購入費とは。

答 河岸跡公園用地の購入あと民地4地権者分、265坪分が残っている。

問 住宅使用料の収入未済額過年度分収入未済額とは。

答 滞納者34人分で税務課の協力で収納に努めている。

問 簡易水道使用料の収入未済額の内訳は。

答 旧増穂町分7万9、120円、旧鯉沢町分100万4、656円。過年度分は旧増穂町分1万4、565円、旧鯉沢町分223万3、788円である。

問 下水道事業の受益者負担金及び使用料に収入未済額が生じている。

答 徴収係を1名専任し徴収に努めている。

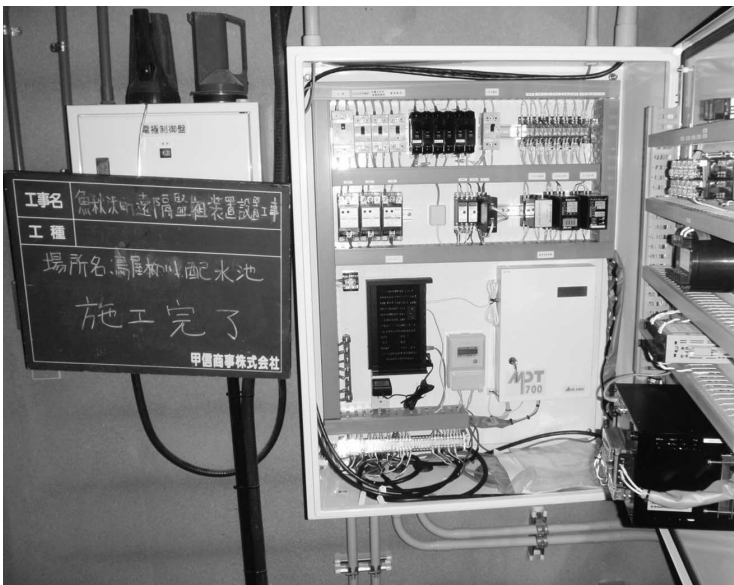
(意見)  
公正な立場から収納に努力していただきたい。

問 塩の華、つくたべかんの今後の事業収益見込みは。

答 売り場面積の拡張や、イベント等への参加回数を増やし、販路の拡大を図るなど、収入増加を目指し努力していく。

(意見)

富士川町として活性化事業を進めていく上で、各種イベント等への参加に全職員で対応することができるよう体制づくりを進めていただきたい。



これで安心、簡易水道遠隔装置の設置

一般会計総額1億860万円を追加

71億2763万円となる



12月開設予定の「かじかざわ児童センター」

おもな補正予算

(端数切捨て)

【一般会計】

- ・ 鯉沢児童センター備品購入費 1、290万円
- ・ 町営バス運行対策費 140万円
- ・ 地域医療体制調査検討委員会負担金 360万円
- ・ 新型インフルエンザワクチン接種経費 884万円

・ 母子相談支援備品購入 106万円

・ 耕作放棄地再生活用促進事業費 128万円

・ 集落支援員設置費 163万円

・ 大久保児童公園・利根川公園遊具設置費 730万円

・ 災害時用ヘリポート整備費 2、400万円

・ 峡南地区ことばの教室施設整備負担金 215万円

・ スポーツ少年団県外大会出場補助金 100万円

・ 峡南広域シルバー人材センター負担金 133万円

・ 下水道事業特別会計繰出金 330万円

・ 峡南広域行政組合負担金 160万円

・ 国民健康保険特別会計繰出金 1、328万円

・ 【簡易水道事業特別会計】  
地上式消火栓設置費 55万円

特別会計補正総額

1億7、417万円

特別会計総額

50億3、299万円

おもな質疑

問 かじかざわ児童センター備品購入費1、290万円とあるが、昨年からの繰越で3、000万円計上してある。そんなに必要か。

答 全額、国で負担してもらえる安心ことも基金・子育て創生事業が活用できる見込みが立ったため、今回計上した。繰越した3、000万円はできるだけ使わないようにしたい。

問 地域医療体制調査検討委員会負担金360万円の根拠は。

答 事務局費(事務機器の使用料187万円、残業手当84万円、消耗品など)325万円、委員会費30万8千円と予備費である。人件費は両町の職員を派遣するので入っていない。この経費は県からの補助があるので、試算では76万7千円となる見込み。

問 災害時ヘリポート造成1、700万円、用地取得700万円の場所と面積は。

答 小室山妙法寺の南の農地約700坪の場所である。

問 スポーツ少年団県外大会補助金100万円は。

答 旅費と宿泊費7千円を限度に2分の1の補助を行なっているが、今回 全日本小学生ソフトボール大会に男子が長崎県、女子が仙台花巻大会に出場することで補助が必要となった。

問 耕作放棄地再生活用促進事業128万円の内容は。

答 これまでは市民農園の形で行なっていたが、今回のものは耕作できる個人に貸し付けるもの。

問 集落支援員130万9千円の内容は。

答 外部人材を活用した地域振興事業である。予算は特別交付税100%措置。地域事情に詳しい人材を活用し、穂積・平林・十谷の3筋を連携した形で地域振興対策を行う。

問 地上式消火栓設置工事業費は、各地区から要望があればすべて設置されるのか。

答 今回の補正は土録地内の地上式消火栓1基分である。すべて希望通りとはいかない。優先順位を決めて計画的に行う。本管から5メートル以内までは町で費用負担。

# 過疎地域自立促進計画 承認される

承認案2件、条例改正案2件がいずれも原案どおり全会一致で議決されました。



路線延長された町営バス

〔承認〕  
過疎地域自立促進計画

国の過疎地域指定を受けた  
鵜沢地域に適用される過  
疎債を活用し、多くの事業  
を盛り込んだ町づくり計画  
旧鵜沢町の基本計画に沿っ  
た実施計画で、今年6年間  
延長された。今後、新町の

総合計画と整合性を図り、  
進めていくことになる。

核兵器廃絶平和都市宣言  
恒久平和を目指す旧増穂・  
鵜沢両町にあった平和都市  
宣言を、新町として再度確  
認し掲げたもの。

## 条例改正

町営バス、十谷鵜沢線を  
「まほらの湯」まで延長

問 旧鵜沢町るとき、高齢者  
(70歳以上)・障害者は無料で  
あった。増穂地域に乗り入れる  
が扱いはどうなるのか。

答 今回も同様に無料。役  
場に申請すれば無料券を発  
行する。

役場職員の勤務時間を  
一日15分短縮

問 勤務時間短縮による町  
民への影響は

答 国家公務員の勤務時間  
短縮にともなうもので、県  
ではすでに実施している。  
庁内・職員の工夫により町  
民への影響はない。

## 臨時議会

平成22年8月27日第3回  
臨時議会が開かれ、3件の  
議案が承認された。

一、町長の給与10%を2カ  
月間減額

参議院選挙時の期日前投  
票における不祥事などの責  
任を取り、町長自ら2カ月  
間減額した。

採決の結果賛成多数で承  
認

一、請負契約の締結(2件)

工事名

富士川町流域下水道管付  
け替え工事

入札方法 指名競争入札

契約金額

8、872万5千円

契約相手

富士川町小室2312  
井上建設株式会社

工事名

光ファイバー等伝送路整  
備工事

入札方法

指名競争入札

契約金額

1億8、900万円

契約相手

甲府市中央4丁目12番25号  
株式会社関電工山梨支店  
採決の結果全会一致で承  
認

# 町政を問う 一般質問

秋山 貢 議員



**問** 地域医療再生交付金は  
組み替え可能か

**答** 2町の検討委員会  
原案を県へ提案

**問** 県の峡南地域保健医療推進委員会では、国の地域医療再生交付金の基金25億円での事業を示している。2町でつくる地域医療体制調査検討委員会で立てた事業計画を、推進委員会に提案し、事業の組み替えをすることは可能か。

**町長** 峡南地域医療推進委員会の専門部会ということで、北部、中南部、在宅、情報ネットワークの4ブロックに分けて活動している。この地域は、北部地域医療連携部会で、市川三郷町と富士川町が一緒になっている。部会のメンバーの7人と2町の議会、民間の有識者2人をプラスして、2町の調査検討委員会をつくる。

この調査検討委員会で決めたものを、県の推進委員会に持って行き検討される。それがまた峡南医療圏の原案になってくると考えている。

**問** 県で示した事業の中には、峡南の医療再生に直接関係しない事業があり、再考をお願いしたい。長野県ではドクターバンク事業という



地域医療ささえる連携を

医師の無料職業紹介で、平成19年度から現在まで47人の就業成立に至っている。医師確保対策室を設置し、7人の職員が事業を推進している。県の推進委員会で、こういった事業を取り入れるよう、積極的に働きかけをお願いしたいが、町長の考えは。

**町長** この地域に合った最低限必要なものを整備するため、調査検討委員会を立ち上げた。25億円を十分活

**問** 教育基本計画を  
策定する考えは

教育施策の目標を明確にし、体系的かつ効果的な教育行政の展開が必要だと考えるが、**教育委員長** 現在、町の総合計画を策定中で、この計画にあわせ、町の教育振興計画の策定を行う。

用し、ぬくもりのある医療圏をつくっていく。議会とも連携をとり、いい形を見いだしたい。

斉藤 正行 議員



**問** みさき耕舎の  
管理料の見直しは

**答** 活性化組合と協議  
年度協定を結ぶ

**問** 交流の里みさき耕舎は、平林活性化組合が町より指定管理を受け、指定管理者として運営を行っている。指定管理の条件は基本協定書の規定で、具体的な金額や支払い方法を年度ごとに定めるが、これまで一度も協議がされなかった。今後協議を行い見直す考えはあるか。

**町長** 指定管理料は6項目が対象になっており、金額はほぼ決まっている。管理委託料は、以前から平林地区にお願いした部分だと思つ、19年度当初予算をつくる時、補助金を一律カットしたと聞いているが、補助金の部分は奨励的な部分が大半である。算定の基礎があり、最低限かかる額で、委託契約を結びながらやっている。委託料まで一律カットが及んだとすれば、もう一度精査し、今年度の協定の中で活性化組合と協議し、年度協定を結んでいきたい。

**問** 入町土録線入口  
道路の拡幅は

入り口が狭いため、停止線から信号まで距離があり、地元の人が不便を感じている。拡幅する考えがあるか。

**答** 地元の協力を  
いただき拡幅整備

**町長** この道路は幅員が4メートル未満と狭隘で、停止線

から信号までの距離が長く、青になってもすぐ黄色になる状況である。過疎地域自立促進計画が承認されれば、地元のご協力をいただき、拡幅整備をしていきたい。

**問** 地域住宅モデル普及推進事業跡地の状況は。

**地域振興課長** 第3回目の債権者集会で、買受人が決まる予定である。



入町土録線入口道路

神田 智 議員



8年目を迎える塩の華

### 問 活性化事業の赤字対策は

### 答 職員の適正化計画の中で考える

**問** つくたべかんは12年、塩の華は7年経過している。両施設とも特徴ある運営で、地域の雇用活性化に貢献している。しかし、決算内容を見ると、一般会計からの繰入金に依存しており、コストを縮小する方法を多面的に改善する必要がある。

**町長** 両施設とも雇用創出町の特産品、農産物等の販売施設として活用されている。農産物の売り場面積の拡張

「みみほうとう」を当地グルメとして提供し、赤字解消に努めたい。

**問** 正職員の内容を見ると、21年度が4人、22年度計画では3人、現状は5人となっている。中心となる職員を置き、パート対応はできないか。町民税が減少する中、職員数と人件費の削減は、合併メリットとして町民は期待している。

**町長** 職員の適正化計画の中で、商業施設経営にふさわしい人材を据えていかなければならない。今後の課題と考えている。

**問** リサイクルステーションの分別収集が効率的に行われているが、有価物の売り払いの扱いは、どのように処理されているか。

**町民生活課長** ステーションは126基整備され、有価物の収集量も増加し、売却収入は約170万円である。

**問** 受託費は6、033万円、170万円はどのように処理されているのか。

**町長** リサイクルステーション

と定時定点（収集日と収集場所が決められている）方式は並行している。集荷場所が現状では増えているので運搬手数料を相殺してお願いしている。今後は精査する。

**問** 可燃物を減らす数値目標を立て、広報等で知らせ、町民運動として取り組んではどうか。

**町民生活課長** 中巨摩地区広域組合負担金は、1トン当たり2万500円、旧増穂町では353万円の負担減となっている。分別収集を徹底し、可燃ゴミを減らすよう、広報等で知らせたい。

### みみほうとう

山梨県の日常食として有名なほうとうだが「みみ」は小麦粉を練って農具の箕（み）のような形にしたもので、福をすくいとするという意味をこめて「福箕（ふくみ）」と呼ばれ、それが転じて「みみ」になったという。富士川町十谷地区の郷土料理。

**問** 児童虐待防止、町の対策は

**答** 各機関と連携し、迅速に対応

永井寛子 議員



**問** 全国の児童虐待の件数は4万4千件を超え、過去最多になった。本町でも毎年児童虐待が起きているが、通報や相談があつた場合、誰がどのような方法で虐待の事実を判断するのか。

**子育て支援課長** 関係職員で直ちに緊急受理会議を開く。1時間以内に事実確認、安全確認、緊急性の判断を、児童相談所の助言も得ながら私が判断している。

**問** 虐待の事実が認められ処遇したあと、町はその児童に対して、どのようにフォローしているのか。

**子育て支援課長** すべてのケースで、いくつかの機関が連携して適切な対応・方策を協議している。要注意ケースは、町だけでなく児童相談所、民生児童委員の協力を得て、経過観察や家庭訪問などを行っている。

**問** これまで児童が良好な環境のもと、親元に戻つたというケースはどのくらいあるのか。

**子育て支援課長** 平成13年度以降、34人の児童生徒をフォローしているが、残念ながら親元に戻つたケースはない。

**問** 子ども自身が嫌なことは「いや」と意思を示せる人権教育が、民間の力を借りて数年前まで行われていたが、今はどうなつていいのか。

**教育長** 道徳教育の中で、虐待やいじめなどに関する人権教育を行っている。

**問** 虐待の背景には、親の子育ての不安や悩みがあるといわれる。町はどのような対策を考えているか。

**町長** コミュニティーの絆

が弱まっている昨今なので、策定予定の地域福祉計画の中に、しっかり位置づけていく。



適切な保護を図るための関係機関による協議会

堀之内美彦 議員



**問** うつ病対策、本町の取り組みは

**答** 問診を行い  
個別支援・経過観察行う

**問** 近年、うつ病など心の病が急激に増加しているが、予防対策・早期発見治療・職場復帰の支援が必要となる。本町の取り組みは。

**福祉保健課長** 平成20年度に峡南保健所と合同で、早期発見・早期予防を行うため、地域におけるうつ病予備軍

を把握するとともに、医療機関への受診勧奨や保健指導等、適切な支援を行うことを目的とした、メンタルヘルス検診モデル事業を実施し、190人の問診を行ってきた。必要と思われる方たちには、個別支援や経過観察を行っている。今後も関係機関と連携・助言をいただき、うつ病予防対策や社会復帰支援の充実に図っていく。

**問** 今年度より認知行動療法に健康保険が適用となったが、どのような対応を考えているのか。

**福祉保健課長** 認知行動療法とは、患者の不安感が強まることで、自己に否定的な考え方や、解釈が生じることに對して、ゆがみを気

づかせ修正する対処法を学習させ、不安な患者を改善させる精神療法のことである。同医療法の実施者を養成する研修も開始されたので、成果について今後大いに期待している。

**問** 町営住宅入居者の連帯保証人枠拡大を  
現行の規定では、連帯保

証人は町内在住者のみとなっているが、近隣町村までの拡大を考えているか。

**町長** 近年は保証人が見つからないとの理由で、県内全域に拡大している自治体もある。本町でも改正した市町村の状況を調査し、問題なければ条例を改正し、入居者が入居しやすい環境づくりを行っていく。



**問** 少子化対策  
若い世代の住環境整備は

**答** 総合計画を策定する中で  
進める



市川 淳子 議員

**問** 少子化対策で子どもを増やすためには、若い世代が富士川町に住んでくれないと増えない。具体的な方策として、医療費窓口無料化の対象年齢の拡大や予防接種の助成、不妊治療の助成金制度、ほかにも子育てを支援する政策を実施していることは、若い世代の人たちから注目されている。今一步踏み込んだ政策として、住環境（住宅）の整備を、積極的に考える必要があると考えるが。

**町長** 町内外から定住促進を図るため、町の総合的な土地利用計画を考え、都市基盤・住環境の整備もやっていきたい。今後、総合計画を策定し、計画的に実施できるようにしたい。

**問** 閉園保育所  
開園の可能性は

現在やむなく閉鎖されている保育所は、小室保育所と同じように、4人以上の園児がいれば開園できるのか。

**答** 今後  
検討していく

**町長** その地域のみなさんが今後、継続的に子どもの確保ができ、保育所が必要だほしいという声があれば、その地区の皆さんとしっかり協議し、検討していきたい。

**問** 小中学校の  
学区制はあるのか

入学案内の就学通知には、指定されているのか。

**答** 指定はするが  
保護者の希望も可能

教育長 就学通知には就学

する学校を指定し、通知をしている。家庭の事情や保護者の希望により、区域外就学も可能になっている。就学通知にも、保護者の申し出により指定している学校を教育委員会と相談の上、変更することができるという文言が入っている。

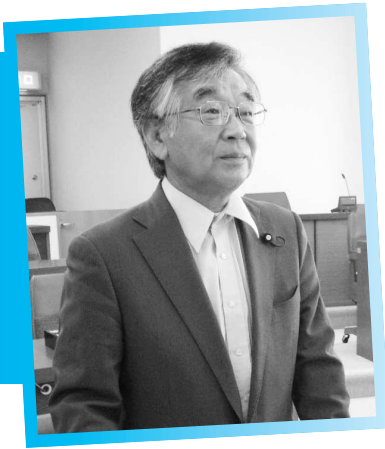


閉園中の中部保育所

## 過疎地域自立促進計画は 見直しを

### 総合計画が上位計画であり 当然見直す

斉藤 欽也 議員



**問** 過疎地域自立促進計画案は、旧鯉沢町の基本構想・基本計画に沿って作られてきたものである。いま、新富士川町の総合計画を作ろうとしているが、この計画案が策定された経緯は。

**町長** 平成22年3月期限の過疎地域自立促進特別措置法が、平成28年3月まで6年間延長された。旧鯉沢町では、平成2年に過疎地域の指定を受けてから、総合計画を基に促進計画を策定し、過疎法が改正されるたびに修正を加え、現在に至っている。これは基本計画とは

異なり、地域振興策を具体的に示した実施計画である。今回は17年に策定された計画を踏襲する形で、庁内で検討・修正を加え策定した。

**問** 実施計画が先にあるということとは、総合計画に制約を加えるという危惧を抱く議決にあたり、見直しについての確約が必要である。

**町長** 総合計画が出た段階で見直しを行う。その際、議会のほうに修正の議決をお願いする。

**問** 産業廃棄物中間処理施設は

大柳川渓谷沿いに建設された産廃の積み替え保管施設は、隣接地区との合意が得られないまま、平成9年より営業を開始しているが、地元住民の予想通り、平成17年ころから法面が崩落し、産業廃棄物が渓谷に散乱した。業者に対し行政の改善指導が何度か行なわれたが、散乱物の回収や斜面の修復が行われなかった。その後どうなっているのか。

**町民生活課長** 19年に運営方法に改善指導すべきところがあり、施設への立ち入り調査と必要な指導を行った。21年3月、県が現地調査を行なった結果、植林など適正に行なわれているとのことだ。



草、ツルで覆われた崩落現場

**問** 先日、私が現地確認をしたところ、写真の通り現状はまったく改善されていない。

**町民生活課長** 確認しづらい場所であり、県と一緒に再度確認して対応する。

# 議会改革特別委員会

委員長 永井寛子

# 資質の向上と 開かれた議会を目指して

委員会は、基本的に月1度開くことになっている。8月に第1回目の委員会が行われ、議員一人ひとりが現状の議会運営の改善すべき点、議会のありかたなどについて意見を出し合った。今回はそれに続く2回目であり、前回出された意見を基に話し合いが行われた。

まず、議会改革の目標を明確にした。第1に、町民に開かれた議会を目指す。そのために、議会運営面の改革と同時に、議員の資質の向上を図らねばならない。

第2に、当局への監視能力を高め、さらに、当局からの提案に対し「異議なし」「賛成」と言っているだけの議会ではなく、議会が当局と政策面で競い合えるような政策立案能力を身につける必要がある。これらの大きな目標を全員で確認した。

## 議論をつくす議会に

大きな目標に向け、できることから一つひとつ実行していき、議員同士の議論の場

がないという問題点を改善するため、たとえば予算・決算について特別委員会を設け、町民の見るところで意見をぶつけ合う場をつくる。

## 夜間・休日議会の開催

すぐできることの1つに、夜間・休日議会の開催を目指す。傍聴を呼びかけても、平日の昼間という時間設定では参加できる人は限定されるため、今後、当局と話し合いを重ね、傍聴しやすい環境づくりに努める。

## 議会報告会の実施

出前報告会も予定する。議会が町民の中に向き、直接町民と対話することで、町民のみなさんに議会を身近に感じていただき、また、議会は町民の生の声を聞く機会にしていく。

中期・長期的視点に立ってじっくり準備をしなければならぬ事柄もあるが、常に町民目線を忘れず、開かれた議会を目指して精進することを確認し合った。

# 増穂商業高校の

存続

# を求め調査・研究を開始!

増穂商業高校の存続を考える特別委員会

委員長 井上光三

昨年、県教委は「県立高等学校整備基本構想」に基づき、峡南4校の再編計画を打ち出しました。これは、平成16年に峡南地区の高校再編が示されて以降新たな構想として公表されたものです。

前回示された高校再編では、各高校で反対運動が起こり、旧増穂・鵜沢両町議会でも存続を求める意見書を提出しています。

今回の整備構想では、中学卒業生数の減少が最も高い峡南地区では、4校の存続は難しく再編が必要であるとの内容に対し、今回も各校の新たな動きが始まりました。増穂商高は、開学以来地域社会と連携した学習指導が行われており、地域からも高校存続の声が上がっています。

富士川町議会では、こうした地域の声や、県立唯一の商業高校であることなど、高校存続に向けた調査・研究が必要であるとして、「増穂商業高校の存続を考える特

別委員会」を設置しました。

委員会では、さっそく存続についての調査・研究を開始するとともに、県教委の説明会を実施しました。

この説明会には委員のほか同窓会、PTA、町内関係機関から約80人が出席しましたが、出席者からは増穂商高の存続を求める声が相次いで出されました。

いい高校を作っていくのは地域です。地域の努力で地域の高校が育っていきます。

町民の皆さんのご意見をお聞かせ下さい。



存続が望まれる増穂商業高校

# 地域医療を守る特別委員会および議員活動報告

6月22日（火） 委員長 斉藤正行

- ・富士川町議会地域医療を守る特別委員会設置。
- ・社会保険鵜沢病院の存続に関する意見書を可決。
- ・内閣総理大臣および厚生労働大臣に送付。

6月29日（火）

- ・第1回特別委員会開催。
- ・地域医療再生計画の概要説明を町より受ける。

7月3日（土）

- ・民主党県連および後藤斎衆議院議員に、同意見書と地域医療機能推進機構法案の早期成立の要望書を提出。

7月31日（土）

- ・米長晴信参議院議員に同意見書と同要望書を提出。

8月9日（月）

- ・地域の緊急医療を守る会と意見交換会。

8月28日（土）

- ・地域医療再生に向けたシンポジウムに議員全員参加。

9月8日（水）

- ・第2回特別委員会開催。
- ・社会保険鵜沢病院の現状について、中島病院長より説明を受ける。

9月24日（金）

- ・9月議会補正予算、地域医療体制調査検討委員会負担金360万円議決。



米長議員へ陳情

特別委員会としては、公的病院としての存続を願いながら、年金・健康保険福祉施設整理機構の動向を踏まえ、山梨県地域医療再生計画と地域医療体制調査検討委員会の意見を聞きながら、地域医療を守るため調査・研究を進めます。

平成21年度 三郡衛生組合議会・決算総括表  
(単位：千円)

会計名	区分	決算額
一般会計	歳入	1,655万5
	歳出	1,281万4
し尿処理事業特別会計	歳入	3億621万9
	歳出	2億9,276万6
火葬事業特別会計	歳入	1億7,895万7
	歳出	1億6,935万8
合計	歳入	5億173万2
	歳出	4億7,493万8

9月29日、決算議会が開催され、平成21年度決算を原案どおり議決しました。おもな議案は次のとおりです。なお、議長に富士川町の深澤勝雄議員が選出されました。

9月29日、組合議会が開催され、ごみ処理事業特別会計総額約22億2千万円など21年度決算が議決されました。ごみの搬入量は前年度に比して可燃ごみ1・2%減、不燃物1・0%減、粗大ごみ8・0%減、リサイクル品2・4%増となり、全体として0・4%の減となりました。

訴訟費用 1200万円を承認

平成6年に発注したごみ焼却施設建設において大手5社による談合が行われ、最高裁で談合が確定しました。そのため約8億円の損害賠償訴訟の裁判を行います。

三郡衛生組合

中巨摩地区  
広域事務組合

組合議会の報告

# 郷土の先人たち

## 富士川舟運と甲州鯀沢離子言葉

望月 武美  
(鯀沢在住)

「女子のよばり」  
甲州かじかざわ  
女子の世張り  
男ごしようらく  
出て稼ぐ

女子の「よばり」という離子言葉が、江戸時代より鯀沢地区に言い伝えて残っています。これは一家を成すときは、亭主は富士川舟運関係の一連の仕事で外で働き、女房は家において家業と家庭をしつかり守ったことを、離子言葉となつて後日まで伝えられたと思います。

富士川舟運の歴史は、駿州岩淵・甲州鯀沢間18里(約72キロ)の開削で水運がはじまり、甲州の経済の大動脈となりますが、開削工事は慶長12(1607)年、徳川家康の命により、京都の豪商・角倉了以によって開削され、その後、了以の子・玄之によって工事が引き継がれ、慶長19年に7年の歳月をかけて竣工し、開通しました。鯀沢河岸も同竣工時に開津されたことと思えます。(青山靖氏著・富士川水運史より)

当時の舟運で使用された舟は、船底の平らな造りで、京都の高瀬川で用いられた同形であったことが記述に見えます。運行は先頭に親方と半乗り小船頭の4人で行い、鯀沢河岸・岩淵間を竹竿で操り、約4時間で下つたといわれますが、上り舟は人の力によるため、早くても4日間、時には5日から7日かかったといわれ、江戸時代の舟運全盛期には番船下り舟108艘を数えたといわれています。

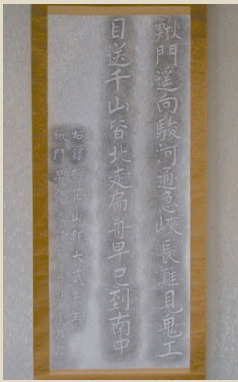
富士川舟運によって下り舟で運ぶ産物は、甲州国中の年貢米数万石と、一部信州方面からの米を江戸表に運ぶことが主であり、信州産の寒天等も運ばれていました。

一方、上げ舟は主に塩で、甲州国中と信州の一部方面まで移入が大きな役割でした。駿州産の海産物、お茶ほか諸国からの砂糖、肥料、綿糸、瀬戸物等が運ばれ、江戸時代年間ごろ、鯀沢村明細帳の記録には、舟運関係で働く男性の日用取りにつ

いて克明な記録があることから、年貢米や塩等の諸々の物資の運搬や、舟運がもたらす各産物の流通過程で、大勢の男性の働き手を必要とされたことは、古文書からも、伺い知ることができ

ます。

江戸時代後期、「凡ノ州中 第一の劇邑ナリ」と繁栄の記録を見る鯀沢河岸も、明治36年中央線の開通と、昭和3年身延線の開通によって存在価値がなくなり、富士川舟運300年の歴史に幕が降りました。その後の鯀沢河岸での数多くの働き手の男性と家業、家庭を守つた女性、舟運の終わりをどう受け止めたかは、現在記録として残っておりません。

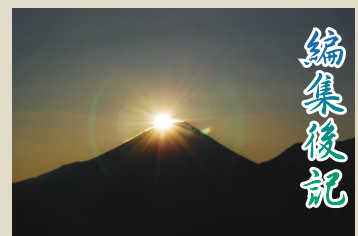


《鯀門早発之詩碑》の拓本  
甲斐の志士・山県大弐が鯀沢を訪れ富士川を下った際に詠んだもの

### 議会クイズ

- 問題1. 富士川町議会の議員数は?
- 問題2. 10月から運行開始した町営バスのルートは十谷からどこまででしょうか?
- 問題3. 議会には4つの常任委員会があります。総務、教育厚生、産業建設ともう1つは何?

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。  
《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。  
・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名  
・年齢 ・電話番号 ・議会広報の感想  
《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134  
富士川町議会事務局 行  
《当選者の発表》次回議会だよりに記載。



秋はスポーツに文化に、交流が深まる季節です。町民同士の融和を図るためにも、いろんな行事に参加しましょう。

さて、2回目の議会だより。いかがでしたでしょうか。委員一同、さらに読みやすい、また、待ち遠しい広報を目指して取り組んでいます。ぜひ、皆さんの感想が聞けたらありがたいです。

(長沢 けん)